



ゴードン R. マッキナリー  
2023-2024年度 R I 会長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840  
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB  
Symphony Weekly



No. 5

会長/President 小野垣 義 男

幹事/Secretary 西 野 宏

クラブ会報委員長/  
Committee Man of Weekly Report 福 島 早 人

第 3 週 2023年8月25日 (金)

例 会 毎週金曜日  
点 鐘 12時30分

例 会 場 マリエール高崎

事務所/Office

高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室

T E L 027-328-3371

F A X 027-328-3372

<http://www.takasakisymphony-rc.org>

E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員/Office worker 浅 見 洋 子

本日のプログラム

ゲスト卓話

足立 進パストガバナー

ロータリーソング 手に手つないで

第1191回例会報告

第4週 7月28日 (金)

会場：暢神荘

(スペシャルランチ)



プログラム

- ・クラブ総会「2022-2023年度決算報告・2023-2024年度予算(案)承認・クラブ細則改訂(案)承認」

・会員卓話

「自己紹介」吉井弘子会員



御来訪者/Visitor 0名

出 席 報 告

会 員 数	46名
出席計算人数	46名
本日出席者	42名
本日出席率	91.30%
先々週出席率	88.89%

幹事報告/Secretary Report

・Wahiawa-Waiialua RC週報 (JULY/20/2023)

・各クラブ例会変更

委員会報告/Committee Report

ニコニコBOX/Donator Niconico Box

八木建司朗君 (美味しいうなぎをどうぞ!)

吉井 弘子君 (卓話御礼)

土屋 貴洋君 (ありがとう)

西野 宏君 (祝総会)

小野垣義男君 ( " )

堀口 芳明君 (ひろこちゃんお話しガンバレ)

白石 隆夫君

高柳 一成君

ビューエル芳子君

ロータリー財団BOX/Donator Rotary Foundation

三浦 敦朗君 小野垣義男君 白石 隆夫君

島崎 真澄君 浦野 幸男君

米山奨学会BOX/Donator Yoneyama Scholarship

小野垣義男君 八木建司朗君 白石 隆夫君

池田 貴明君 宮口 昌利君

理事会報告/Board of Directors (Report)

(2023年8月5日第6回)

- ・プログラムの件…9月8日、9月15日ゲスト卓話予定、11月24日合同夜間例会、12月5日宝塚歌劇団公演鑑賞など変更、承認。

・群馬いのちの電話寄付依頼…ニコニコBOXより10,000円の寄付で承認。

・地区補助金 (2023-2024年度申請・2024-2025年度報告) 担当者について…反町ロータリー財団委員長で承認。

・親睦委員会より報告

11/24 高崎北RC合同夜間例会、会場は暢神荘。

12/16 クリスマス家族例会のイベント、泉さんのコーラスグループ予定。

1/22 6ロータリー新年会のイベントを早急に決定したい。

新会員  
清水清美君入会式





## ク ラ ブ 総 会



決算報告 井汲憲治直前会長



予算案報告 西野宏幹事



会計監査 折田慶太会員



細則改訂について 安藤淳副会長

次回例会予定

9月1日(金) 休会

9月8日(金) 通常例会

「ゲスト卓話 群馬いのちの電話 熊沢幸雄様」

2023年8月1日(火)

### ブロードウェイミュージカル

#### 「ウエスト・サイド・ストーリー」鑑賞

クラブからは、会員・ご家族・ご友人計54名にて参加。素晴らしい音楽・歌・ダンスを鑑賞させていただきました。



### シロク・満州・ テヴィエ③

—ある名優の生涯より—  
金子秀隆

「屋根の上のヴァイオリン弾き、一体何だと思いでしょうか？ 僕等このアナテフカに住んでおるユダヤ人はみんな屋根の上のヴァイオリン弾きみたいなもんだ。滑り落ちて首の骨を折らねえように気を配りながら愉快で素朴な調べをかき鳴らそうとしておる」

ミュージカルの冒頭で主演テヴィエはこう語りました。テヴィエは牛乳屋で、彼がヴァイオリン(正しくはフィドル)を弾く事はありません。原作にもヴァイオリン弾きが出て来る事はありません。恐らくはミュージカル化に際してこのような設定がなさ

れたのでしよう。

原作はショレムアレイヘムが1895年から1916年にかけてイディシュ(ユダヤドイツ語)で発表された連作短編『牛乳屋テヴィエ』です。19世紀末から20世紀初頭の帝政ロシア下のウクライナでキエフ近郊の架空の村アナテフカのユダヤ人家族の物語です。

このショレムアレイヘムとはペンネームで、「あなたの上に平安あれ」というイディシュの挨拶の言葉です。劇中出会いや別れ、約束の時にかける台詞「シャローム」もこれを略したものです。原作者は1905年のポグロム(ユダヤ人排斥運動)で故地を逃れます。

この一連の物語は、伝統的なユダヤの風習を守りたい父テヴィエ、脱伝統に洗われる子供達との葛藤を描いています。加えてポグロムによって村を追われる物語です。これが「屋根の上のヴァイオリン弾き」になるのに2人のユダヤ人が関わっています。

画家マルクシャガールは1887年帝政ロシア下のベラルーシに生まれています。1920年「牛乳屋テヴィエ」を『テヴィエ物語』として舞台劇となった時、舞台美術に加わっていたそうです。また、シャガールはヴァイオリン弾きを好んでモチーフにしています。

演出家・振付師ジェロームロビンズは1918年米国NY生まれ、親は1905年のポグロムを避けた帝政ロシア下東欧からの難民でした。ロビンズは、ミュージカル化にあたりユダヤ人共同体シュテットルの習慣を調べ、イディシュ音楽であるクレズマーを採用します。

フィドルは中世に起源があるそうで、現在ではヴァイオリンと同化しました。違いは奏法で、ビブラート多用をせず、主に民族音楽で演奏されます。クレズマーでは冠婚葬祭で用いられ、神と人とを結ぶ音楽を奏でるものとされていました。

1964年ブロードウェイ初演を迎え、およそ8年3千回を超えるロングランとなりました。これを観劇したソニーの盛田昭夫が「舞台に森繁がいる」と東宝の菊田一夫に掛け合い、1967(昭和42)年ミュージカル草創期の日本での上演のきっかけを作りました。

1975(昭和50)年、久しぶりの再演が決まると、1982(昭和57)年の6ヶ月ロングランまで毎年上演されました。この間20都市に及ぶ全国巡業を行いました。1986(昭和61)年の最終公演で主演900回を務めました。まさにライフワークでした。

『地の涯に生きるもの』の村田彦一、「屋根の上のヴァイオリン弾き」のテヴィエ、またこれを演じた森繁久彌も生活基盤を引き剥がされた者達でした。屋根の上から落ちてしまったと言えるでしょう。そこにソビエト・ロシアがいました。

森繁は知床で還れぬ満州に想いを馳せ、テヴィエを演じる時に自身の体験が舞台に重みを増したことでしよう。迫害の年1905年は、ロータリーの設立年でもあります。